

平成24年度農業高校助成事業（就農促進対策助成）

事業主体名 徳之島高等学校

1 目的

営農に携わる方の講話を、生徒が聴いたり、実際に農家で農業体験をしたり、生産現場や流通過程の視察を行うことにより、職業として農業をとらえる機会を与える。

さらに就農意欲のある生徒に対して、農業自営者としての技術や態度を養うための進路学習とともに、人生設計を具体的に描かせる。

2 実施状況

(1) 先進農家視察の実施

「奄美農業学」から地元企業と連携し、徳之島の特産品「ポタンボウフウ」の収穫と加工を体験した。

南西諸島に自生し、薬草として知られており、徳之島の新規作物として栽培を拡大して本格化している。生徒たちは約150キロを収穫し、製造実習を経験し、高付加価値・高単収型の新たな農業の可能性を感じた。



(2) 農業関連事業所視察研修の実施

「奄美農業学」から地元の灌漑用水を利用する農家を視察し、その灌漑用水のための徳之島ダムを視察した。

奄美地域の大規模畑地灌漑事業で徳之島の農業がどのように変わっていくかを灌漑用水を担う徳之島ダムの視察研修を行うことで、生徒が水の重要性について深く考える機会となった。



3 今後の課題、取組

徳之島に秘められた農業の魅力を感じるために、様々な地域に出向き、地域の農業を知り、地域の方々と関わられるように計画を立てたい。また、地理的に本土から遠く、島だけの研修に留まりがちであるため、様々な情報を生徒に提供できるよう工夫したい。